

いつかは皆ひとり

安心して生き そして逝く

—死後事務委任契約「エンディングパスポート」—

人の死後、すべての人に死後の手続きが必要です。これを「死後事務」といいます。これまで死後事務は家族や縁者によって行われてきましたが、今日、超高齢少子社会を迎え、自身では死後事務ができない独り暮らしや超高齢所帯が多くなり、このような人達のためにワンストップでお世話する仕組みが必要になりました。孤立することなく、安心して社会生活ができる仕組みとしての「死後事務委任契約」を、有識者とともに検討するシンポジウムを開きます。皆様のご参加をお待ちします。

シンポジウム

1部 特別講演

「人が生きるには暖かい人間関係が不可欠」

小松丈祐 さいたま市老人福祉施設協議会 会長

死後事務委任契約「エンディングパスポート」について

須齋美智子 NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター（LEC）理事長

2部 パネルディスカッション

平 修久 学校法人 聖学院大学 政治経済学部 政治経済学科 副学長 教授

永松幸子 シルバーサポートセンター「諏訪の苑」センター長 主任介護支援専門員

森 満夫 行政書士 社会保険労務士 NPO法人LEC 理事

コーディネーター 須齋美智子

■日 時 2017年1月29日（日）午後1時30分～4時

■会 場 さいたま市浦和コミュニティセンター 9階 15集会室
（JR 浦和駅東口駅前コムナーレ内）

■定 員 130名（定員になり次第締め切らせていただきます）

■参加費 1,000円

■事前申込み 電話 048-855-1238 FAX 048-855-1006 Email office@npolec.org

※申し込み、お問い合わせは電話、FAX、Email のいずれかをお願いします。

主 催 NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター

後 援 さいたま市

特別講師・パネラーのご紹介

こまつ じょうすけ
小松 丈祐



さいたま市老人福祉施設協議会 会長

1947年 秋田県本荘市（現・由利本荘市）生まれ。
消防署、精神病院勤務などを経て、
1990年 特別養護老人ホーム三恵苑に入職（在宅福祉 統括）、
介護の業界に足を踏み入れる。
1998年 養護老人ホーム富士見園園長
1999年より特別養護老人ホーム諏訪の苑 苑長に就任、
2005年より現職。

たいら のぶひさ
平 修久



聖学院大学 政治経済学部 政治経済学科 副学長 教授

東京大学工学部都市工学科卒、米国コーネル大学大学院 PhD
（都市及び地域計画学）取得
富士総合研究所（現、みずほ総合研究所）勤務を経て、
2000年 聖学院大学政治経済学部教授
地域活動の活性化のため、学校法人聖学院が中心となって設立した
NPO 法人コミュニティ活動支援センターの理事長を兼務（2007-2014）
2015年10月より副学長
専門は都市問題・都市政策。
『地域に求められる人口減少対策』（2005）などの著作多数。

ながまつ さちこ
永松 幸子



地域包括支援センター諏訪の苑 センター長

さいたま市大宮区（旧大宮市）出身。
学業を終え一般企業に就職、ボランティア活動を経験し介護の資格取得
2005年 社会福祉法人大桜会
居宅介護支援事業所諏訪の苑 介護支援専門員として入職
2006年 地域包括支援センター諏訪の苑 主任介護支援専門員
2012年より現職。

もり みつお
森 満夫



森行政書士事務所・シャロンFC経営労務事務所所長

1960年2月 埼玉県与野市（現さいたま市中央区）生まれ。
1978年3月 大学卒業後、埼玉県支部新聞公正取引協議会・埼玉県
新聞販売管理センター、株式会社八州総務部等を経て、
2002年3月 行政書士登録・開業
2003年9月 社会保険労務士登録・開業。
さいたま市障害者の権利の擁護に関する委員会委員
行政書士相談員（中央区・南区）
社会保険労務士相談員（埼玉県建設管理課）

すさい みちこ
須齋 美智子



NPO法人ライフ・アンド・エンディングセンター 理事長

1933年3月 東京都渋谷区生まれ
1995年5月 夫のがん発病により、死生に深い関心を持ち、葬送につ
いて調べるうちにこの業界の在り方に疑問を抱き始めた。爾後、葬送に
ついて学び、（社）長寿社会文化協会の会員を中心に勉強会を始める
2000年12月 暮らしを見つめよりよい生き方と人生の締めくくりを
サポートすることを目的に、NPO法人ライフ・アンド・エンディング
センターを設立、理事長に就任。
著作 『もしもノート』、『もしもノートはなぜ売れる』